

キャンプカーマガジン

Camp car MAGAZINE

キャンピングカーの電装パーツ!大特集!

2013 January

vol.

35

定価 680 円

カーオーディオマガジン1月号増刊

2012年11月30日発売

www.campcar-mag.com



電気を制すエレクトリックメソッド&暖かさをバックアップする絶対メソッド

キャンピングカーパーツ選び

先輩ユーザーの快適化に学ぶ

アイデア頂き& DIYスタイルブック 大特集

キャンプカーマガジン

ミニキャンプ大会

第4回編集部オススメ道の駅ガイド

小坂田公園

●連載: koniken先生のエレクトリックキャンパーLAND





妻が気に入った現車を即購入。旅にイベントに大活躍



取り回しの楽なナローボディと室内高に余裕があるハイルーフ。それが購入の決め手となった。運転に疲れの少ないベストサイズだ。



足の弱いカツ子さんを気遣って、ご主人が自作した手すり付きの収納棚。技術の高さだけでなく愛情の大きさをもう感じさせる仕上がりだ。



購入のきっかけ

所有していたお手製キャンパーが老朽化しエンジントラブル。カツ子さんが新しいキャンピングカー購入を切望し、キャンピングカーショーで出会ったクッチェッタにひと目惚れ。

家族の声

「テレビで素敵な風景を見ると、自分もそこに出かけたくります」とカツ子さん。キャンプ大会などのイベントに足を運び、他のユーザーと触れ合うことも楽しみのようになったという。

「遠くへ出かけることがわたくしたち夫婦にとって唯一共通の趣味なんですよ」購入から2年、クッチェッタのオドメーターは早くも3万kmを超えている。

「実はワタシが気に入ってしまっていて……」。穏やかな口調でカツ子さんが話してくれた。夫婦ふたりで出かけたキャンピングカーショー、ビークルのブースに展示されていたクルマが、このクッチェッタだった。

DIYカスタムや日曜大工が好きな林さんは以前、ハイエースワゴンを自らの手で改造しオリジナルキャンパーとして愛用していた。しかし老朽化が進み、出先でエンジンがストップ。そのトラブルに懲りたカツ子さんが新しいキャンパーを求めたことは、ごくごく自然な流れだったはずだ。

林夫妻は「今すぐにも乗って帰りたい」という気持ちでビルダーに伝え、早期納車可能な展示車両を購入。

週末は必ずどこかへ出かけるようになりました



妻・浩巳さんの通勤や保育園の送迎に使用することを考えると、このサイズがベスト。見た目の「普通っぽさ」も普段乗りに適している。

お気に入りには優しいデザインとソフトな色使いのインテリア。4人家族にとって余裕ある広さではないが、必要にして十分な空間が確保されている。



購入のきっかけ

所有していた軽キャンパーが狭かったので、サイズアップしようとキャンピングカーショーに出向く。そこで出会ったHANAを気に入り、後日ビルダーを訪問して契約を結んだ。

家族の声

残念ながら妻・浩巳さんと愛娘・百架ちゃんはお留守番。しかし女性好みな内装は西原家の女性陣に好評だという。気軽に外へ出て気軽に泊まれる、そのライトな感覚も魅力とか。

「インテリアも女性好みの可愛い色使いで妻が気に入ったんです」。幕張のキャンピングカーショーへ家族揃って出かけたことを西原さんが話してくれた。準備が要らないから時間を有効に使えること、ホテルやキャンプ場を使わなくてもすむから宿泊費を削減できること。テント泊のキャンプが趣味だった西原さんに、HANAが教えてくれることはとても多い。

今では週末になると必ずどこかへ出かけるのが習慣になったという。キャンピングカーは家族にかけがえのない時間を与えてくれる。

大きくて広くて余裕たっぷり……とはいかないが、ライトエースをベースとするHANAはサイズが小ぶりでデザインもキュート。キャンピングカーと乗用車の2台体勢が難しい西原ファミリーにとって、両方の役割を担ってくれるHANAは最良な選択であった。

「インテリアも女性好みの可愛い色使いで妻が気に入ったんです」。幕張のキャンピングカーショーへ家族揃って出かけたことを西原さんが話してくれた。準備が要らないから時間を有効に使えること、ホテルやキャンプ場を使わなくてもすむから宿泊費を削減できること。テント泊のキャンプが趣味だった西原さんに、HANAが教えてくれることはとても多い。

ビークルのキャンパー誕生を追う

注目ベース車両キャラバンの新たな潮流

NEWキャラバン誕生で 新ラインナップに期待

11月10・11日に東京のお台場で開催された「お台場キャンピングカーフェア2012秋のお台場大商談会」ではキャラバンベースのクルマが目立っていた。

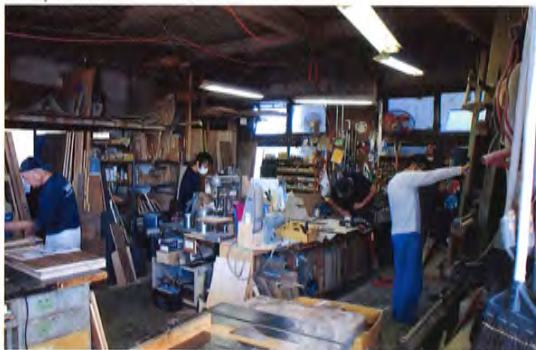
2012年6月15日に発売開始されたNV350キャラバン。最近では街中でも見られるようになり、キャンピングカーベース車両としてのデリバリーも落ち着いてきた。旧モデルE25の誕生から10年以上経過し、2004年に登場したライバル200系ハイエースの席巻によって、キャンピングカーベース車両の座を譲っていた感があつたが、商談会でのラインナップをみると、キャラバンのこれらの活躍が期待できる。



今回、編集部ではキャラバンの魅力を知るために、その製作過程取材することに決定した。協力をお願いしたのは埼玉県草加市のビークル。早々に新型キャラバンをベースにしたキャンピングカー製作を決めていたビルダーでもある。

新型車でキャンピングカーを作るにあたって、1台目のクルマ製作は手間のかかる作業になる。床の形状はどうなっているのか、配線をどのように通すべきか、支柱の場所など、作業ごとに確認しなければいけないことばかり。のちのちの作業効率なども考えながら、作業をすすめなければならない。

ビークルではキャンピングカーベース車両として入庫したクルマの内装を剥がすことからスタートする。その後、床面を設置、壁に配線を施し、同社の特徴でもあるフルトリムを行っていく。フルトリムは既製の壁をすべて取り外し、新たに壁を張る作業。断熱材を入れたり、ウレタンフォームを張ることで、快適な室内空間を生み出す。同社では厚めのウレタンを使用し、ポリウレームのある仕上がりを生み出す。厚ければ、シワになるリスクも高く、きれいに仕上げるためには職人技のようなものも必要になる。その製作行程を追ってみた。



内装はすべて社内工場で行っている。職人がクルマを行き来し、採寸したり、室内での使い勝手を確認しながら、家具を作り上げて行く。最初の一台は、家具のサイズや設置場所などを決めなければならないので、作業に時間がかかってしまう。また、お客さんのクルマを作る時、営業マン以外に職人さんが直接お客さんから話を聞いて、お客さんの求めるレイアウトを実現してくれるのも同社の強み。

オプションで設置するためのフリップダウンモニターのステーを天井裏に設置。床面に図面を書き込んだり、あとあとの作業やオプションのことまで考えて、最初のモデルが完成する。

同社では床面を張る時が一番気をを使うという。この作業を怠ると、あとあと家具の収まりが悪くなったり、床に傾斜が付いてしまい、快適な室内空間を作ることができなくなるという。

まず最初にすることは、入庫したクルマの構造をチェック。壁も外して、配線の通し方、ステーの設置方法などを慎重に設計する。ビークルでは壁のカバーもすべて取り外して作業する。





試乗のできる展示会、春日部キャンピングカーショーで完成を追っていたクルマに試乗してみた。スムーズな走り出し、リア回りの揺れの収まりなど、新しいクルマを感じさせるフィーリングを味わった。キャンピングカーとしての作りもすばらしく、家具が軋む音などいっさい聞こえてこない。作り込みの良さを実感できた。



内張り完成。この時点で配線もすでに完成している。あとは家具を固定して、照明を設置。曲面での家具の収まりも、微調整を繰り返しているの、びったりと収まる精度の高さを誇る。

ゆがみ、傾きのない床面のお陰で、家具の収まりもすっきり。換気扇は外側のボディに穴を開けたくないでリアゲートの内部を通り、水抜き穴から空気が排出される仕組み。

同社の特徴でもあるフルトリム。内装をすべて張り替える。厚めのフォームを使用しているにもかかわらず、シワにならず、きれいにすっきりと収めるには高い技術が要求される。



Camp Car Magazine New Model Reports

ブロス

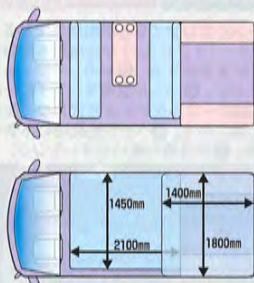
ピークル 埼玉県草加市谷塚町1080-18 ☎048-927-5678 <http://www.vehicleweb.co.jp/>

車両価格 発売記念価格

【室内 LAYOUT&車両 DATA】

【ベース車両】

キャラバンスーパーロングDX/特装車



DAY
MODE

NIGHT
MODE

車両サイズ (mm)	全長 5080
	全幅 1695
	全高 2285
エンジン	2.5ℓ 直 4DOHC ガソリン
	2.5ℓ 直 4DOHC ディーゼル
ミッション	5AT
駆動方式	2WD、4WD (ディーゼルのみ)
乗車定員	7名 (特装車)、8名 (DX)
就寝定員	大人3名+子供2名
水タンク容量	給水 10ℓ、排水 10ℓ
ベッド寸法 (mm)	2100×1450
	1800×1400
登録ナンバー	8ナンバー

サブバッテリー	○	電子レンジ	△
走行充電	○	FF ヒーター	△
外部電源	○	TV	△
インバーター	△	バックアイカメラ	△
発電機	×	トイレ (P)	△
冷蔵庫	○	ベンチレーター	○



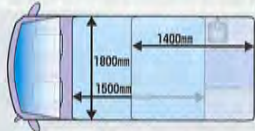
PHOTO / 友田宏之 TEXT / 編集部

ボディの長さが生んだレイアウトの余裕
キャラバンのスーパーロングの全長は5080mm、ハイエースのロングとスーパーロングの中間のサイズ。ハイエースのスーパーロングだと、ボディ幅がワイドになってしまいうので、ナローボディのキャラバンがさらに目立つ。この設定が絶妙。2・5ℓエンジン、5速ATの組み合わせで、パワフルかつスムーズな走りを実現してくれる。その走りはワンランク上の走行フィーリングを生む。
レイアウトはこの長さを生かして、2100mmのベッドを確保しつつ、リア側にギャレーと冷蔵庫を設置。旧キャラバンだと、長さが足りずにこの二つを並べることはできなかった。2段ベッドを標準装備し、1695mmという車幅で就寝、大人3人、子供2人を確保した。

【室内 LAYOUT& 車両 DATA】

【ベース車両】

ハイエース ロングハイルーフDX

DAY
MODENIGHT
MODE

車両サイズ (mm)	全長 4695 全幅 1695 全高 2240
エンジン	2.8 直 4DOHC ガソリン 3.0 ディーゼルトーボ
ミッション	4AT, 5MT (DX のみ)
駆動方式	2WD, 4WD (ディーゼルのみ)
乗車定員	7 名 (特装車)、8 名 (DX)
就寝定員	大人3名+OP(大人1名+子供1名)
水タンク容量	給排水 各 10ℓ
ベッド寸法 (mm)	下部 1800×1500 上部 1800×1400 (オプション)
登録ナンバー	8 ナンバー

サブバッテリー	○	電子レンジ	△
走行充電	○	FF ヒーター	△
外部電源	○	TV	△
インバーター	△	バックアイカメラ	△
発電機	×	トイレ (P)	△
冷蔵庫	△	ベンチレーター	○

ビークル 埼玉県草加市谷塚町1080-18 ☎048-927-5678 <http://www.vehicleweb.co.jp/>

車両価格 ¥3,608,850~

クッチェッタ・カナート



PHOTO / 友田宏之 TEXT / 編集部

コンパクトサイズながら
ファミリーキャンパーも
全長 4695mm × 全幅 1695mm のハイエースロングハイ
ルフをベースに作られたビ
クルのクッチェッタ・カナ
ート。同社の特徴でもある内装全
面を張り替えるフルトリムを施
し、キャンピングカーとしての
基本的な装備を備えながら、価
格を抑えられているのが特徴。
限られたスペースを有効に使
うため、リアギャレー部には工
夫が見られる。シンクはスライ
ド式で、使用するときだけ引き
出して使う。しかし、シンクと
は別にシャワーヘッドを備えて
いるので、普段使いとして外シ
ヤワーを使うのもいいだろう。
また、スライド式天板を出す
作業台としても使用可能。
オプションの2段ベッドを装
着すると、大人4人と子供1人
分のスペースを確保できる。

【室内 LAYOUT& 車両 DATA】

【ベース車両】

ハイエース キャンパー特装車

DAY
MODENIGHT
MODE

車両サイズ (mm)	全長 4780 全幅 1930 全高 2680
エンジン	1.8ℓ 直 4 ガソリン
ミッション	AT
駆動方式	2WD
乗車定員	6 名
就寝定員	5 名
水タンク容量	給水 38ℓ、排水 19ℓ
ベッド寸法 (mm)	下部 1800×1200 リア 2 段ベッド 1800×640 ~ 750
登録ナンバー	8 ナンバー

サブバッテリー	○	電子レンジ	△
走行充電	○	FF ヒーター	△
外部電源	○	TV	△
インバーター	○	バックアイカメラ	○
発電機	△	トイレ (P)	△
冷蔵庫	○	ベンチレーター	△

マックレー 京都市左京区静野中町404 ☎075-200-3709 <http://www.macleys.co.jp>

車両価格 ¥4,336,500~

グリーク 480



PHOTO / 友田宏之 TEXT / 編集部

オール電化の完全自立型
グreek がリニューアル
発電機、電子レンジなどを搭
載するために、配線と搭載設備
をあらかじめ装備し、オール電
化を念頭にクルマが作られたグ
reek 480。スタンダードタ
イプでもウインドーエアコンと
40ℓ 冷蔵庫が標準で装備されて
いる。フルパックではスタンダ
ードタイプの装備に加え、ヤマ
ハ1・6kw 発電機、FF ヒータ
ー、ファン付きルーフベンチレ
ーター、自動充電器10A、電子
レンジを標準装備している。
コンパクトなボディながら、
常設2段ベッドを設置。サード
シートを前方にスライドさせる
ことによって、マルチルームス
ペースが広がり、ポータブルト
イレを設置することも可能にな
る。バンクベッド付シェルへの
変更も可能で、ユーザーの用途
に合わせてアレンジが可能。

キャンプ大会 レポート



キャンプ場の入口に
オリジナルキャンピ
ングカーを展示。
一般入場者も興味
津々となっていた。



懇親会では濱本社長
がバーベキューの準備
を行い、開会の挨拶。



常連のDIY 達人は自家製サファリテントの実証
実験。判明した不具合箇所を解消するのも趣味。



ベテランたちは子供用にポップコーンや焼き芋
作り。

第3回 ビークル アウトドアフェスタ 2012

平成 24 年 10 月 20 日～ 21 日 千葉県・清水公園オートキャンプ場

キャンピングカー展示会& オーナーミーティング開催



オプト

堀口朋也さん、則子さん、優&心(愛犬)

愛犬同伴旅には 欠かせない愛車

キャンピングカー歴1年の堀口さんは、乗り始めてから愛犬同伴旅が楽になり遠出が増えた。



デュオ

加藤清行さんご夫妻

超ベテランが愛す 夫婦2人旅仕様車

キャンピングカー歴30年の超ベテランが選んだバンコンは、収納ボックスの利便性が◎。



オプト SL

八巻賢治さん、陽吉さん、石毛奈那子ちゃん

バンコン乗り継ぎ 10年以上の経験者

さまざまなバンコンを乗り継いだ八巻さん。このオプトもデュオに買い替え。これが最後の勇姿だ。



ベッセルファミリーユ

佐野功さん、茂子さん

キャンプの達人が 選んだ釣り専用車

テントキャンプ歴20年の佐野さんは釣りが趣味。購入して1年だが、釣り専用仕様へのDIYを開始。



キャラバンプロス

中尾根豊さん、紀子さん、隼介くん、REX(愛犬)

普通の買い物でも 便利に使う冷蔵庫

最大のお気に入りには容量のある冷蔵庫。キャンプ中の食料保管以外にも、普通の買い物でも活用。



ティアラ

西條昌亮さん、文さん、日々くん、月陽くん

仲間を作るために 初キャンプ

キャンピングカーを購入した西條ファミリーは、キャンプ仲間を作るために初参加。



クッチェッタ

林秀樹さん、カツ子さん

これからDIYに 着手して夫婦旅

千葉県館山から参加した林さんご夫妻は、さまざまなDIY作品を見て快適なクルマ作り着手。



フューチャー

海老沢さんファミリーと仲間たち

仲間作りが楽しめる キャンピングカー

キャンピングカー2年生の海老沢さんは、昨年の初キャンプ仲間と再開。今回も仲間を増やせたそう。



グラントキャビン

肥後学さん、ここ乃ちゃん

親子の絆を強める サーファー仕様車

サーフィンが趣味の肥後さんにとって、このクルマはロングボードが積めて便利。しかも家族で就寝可。



閉会式後には参加家族ごとに記念品を配布。



イルミネーションをキラキラさせてのグループ宴会は盛大! いつしか演本社長も混じっていた。



子供たちと遊び回ったのか完全グロッキー! でも子供たちが集まると即座に復活だ~!



年長の子は兄弟でなくても年下の子たちを世話するのがキャンプ仲間の常識。イジメなんか無関係だ。

誕生日の母親のために、母親が買い物に行った間に友達と協力してパースディケーキ作り。

夕方展示会が終了すると、参加者たちは隣接するバーベキュー場に移動。テーブルごとに常設されているバーベキュー台で持参した食材を焼きながらの懇親会となる。

その後はキャンプ場に戻り、仲間ごとに集合しての宴会がスタートした。

ベテランキャンパーが多いだけに、各所でオリジナルのアウトドア料理に興じながらの酒宴が深夜まで続いた。

翌日は昼前に集合写真撮影をし、記念品配布を終えて閉会となった。

今年で3回目を迎えるアウトドアフェスタは、首都圏屈指の総合公園内のオートキャンプ場で、一般来場者にオリジナルキャンピングカーを見せながら展示商談会を行いながら、オートナートにもキャンプを楽しんでもらうオートナーミティイベントを兼ねたキャンプ大会だ。

初日は、オートキャンプ場に隣接する運動場が中学生駅伝大会のゴールになっていたため、声援のために訪れた父兄たちが展示場に次々に来場。

その奥でキャンプをするキャンピングカーのユーザーたちも、キャンピングカーの実践使用法を教えるなど、通常のキャンプ大会とは趣きが異なるイベントとなった。

夕方に展示会が終了すると、参加者たちは隣接するバーベキュー場に移動。テーブルごとに常設されているバーベキュー台で持参した食材を焼きながらの懇親会となる。

その後はキャンプ場に戻り、仲間ごとに集合しての宴会がスタートした。

ベテランキャンパーが多いだけに、各所でオリジナルのアウトドア料理に興じながらの酒宴が深夜まで続いた。

翌日は昼前に集合写真撮影をし、記念品配布を終えて閉会となった。